

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

## 各論演習 22-1

問1)

ペナンロイヤール社（以下、P社という。）およびシルバープレイズ社（以下、S社という。）の当期（×2年4月1日から×3年3月31日まで）における個別財務諸表は、（資料1）のとおりである。（資料2）の連結に関する事項にもとづいて、連結財務諸表を完成しなさい。なお、税効果会計は適用しない。

（資料1）個別財務諸表

## 貸借対照表

×3年3月31日

（単位：円）

資産	P社	S社	負債・純資産	P社	S社
現金預金	34,350	8,950	支払手形	18,700	7,400
受取手形	45,000	20,500	買掛金	17,430	7,300
売掛金	45,000	24,500	借入金	30,000	30,000
貸倒引当金	△ 1,800	△ 900	未払法人税等	20,000	3,000
商品	18,600	7,900	未払費用	1,100	940
貸付金	42,800	-	資本金	120,000	40,000
前払費用	1,480	1,090	利益剰余金	97,900	16,300
未収収益	400	-			
建物	85,000	55,000			
建物減価償却累計額	△ 16,500	△ 20,100			
土地	12,400	8,000			
S社株式	38,400	-			
	305,130	104,940		305,130	104,940

## 損益計算書

自×2年4月1日 至×3年3月31日

（単位：円）

借方科目	P社	S社	貸方科目	P社	S社
売上原価	113,400	50,700	売上高	236,200	85,000
販売費・一般管理費	83,050	24,550	受取利息	600	-
貸倒引当金繰入	1,300	400	受取配当金	2,650	-
減価償却費	4,500	3,750	固定資産売却益	15,000	2,500
支払利息	2,200	600			
法人税等	20,000	3,000			
当期純利益	30,000	4,500			
	254,450	87,500		254,450	87,500

## 株主資本等変動計算書

自×2年4月1日 至×3年3月31日

（単位：円）

	株主資本			
	資本金		利益剰余金	
	P社	S社	P社	S社
当期首残高	120,000	40,000	76,900	13,300
剰余金の配当	-	-	△ 9,000	△ 1,500
当期純利益	-	-	30,000	4,500
当期末残高	120,000	40,000	97,900	16,300

(資料2) 連結に関する事項

1. (1) P社は×1年3月31日にS社の発行済株式の70%を取得した。

- (2) S社の純資産の推移は次のとおりである

	資本金	利益剰余金
×1年3月31日	40,000円	12,000円
×2年3月31日	40,000円	13,300円

のれんは計上年度の翌年から20年間で均等償却する。

2. (1) P社はS社から商品の一部を掛けで仕入れている。S社の売上高のうち34,000円はP社に対するものであった。

- (2) P社の商品棚卸高に含まれているS社からの仕入分は次のとおりである。

期首商品棚卸高：3,000円

期末商品棚卸高：4,500円

なお、S社のP社に対する売上総利益率は每期40%である。

3. (1) P社の支払手形のうち9,000円、買掛金のうち6,000円はS社に対するものである。

- (2) S社はP社振出の約束手形のうち5,000円を割引に付しているが、まだ支払期日は到来していない。

- (3) P社・S社とも、受取手形（割引手形を除く）および売掛金の期末残高に対して1%の貸倒引当金を差額補充法により設定している。また、前期末は、S社のP社に対する売上債権はなかったため、貸倒引当金の設定は無かった。

- (4) P社の貸付金のうち15,000円は、S社へ×2年7月1日に年利率2%、期間1年、返済時に元利支払の条件で貸し付けたものである。なお、P社・S社とも利息を月割計算によって計上している。

4. S社はP社に対して当期首に土地（帳簿価額5,000円）を6,000円で売却している。

解1)

連結貸借対照表  
×3年3月31日

(単位:円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金		支払手形	
受取手形		買掛金	
売掛金		借入金	
貸倒引当金		未払法人税等	
商品		未払費用	
貸付金		資本金	
前払費用		利益剰余金	
未収収益		非支配株主持分	
建物			
建物減価償却累計額			
土地			
のれん			

連結損益計算書

自×2年4月1日 至×3年3月31日

(単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価		売上高	
販売費・一般管理費		受取利息	
貸倒引当金繰入		受取配当金	
減価償却費		固定資産売却益	
のれん償却額			
支払利息			
法人税等			
非支配株主に帰属する当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益			

連結株主資本等変動計算書

自×2年4月1日 至×3年3月31日

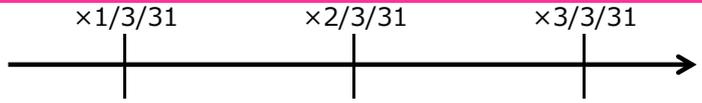
(単位:円)

	株主資本		非支配株主持分
	資本金	利益剰余金	
当期首残高			
剰余金の配当	-		-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-		-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	
当期末残高			

22-1を初めて解くときに、当該用紙を手助けに下書用紙として使うと理解しやすい。

開始仕訳

①投資と資本の相殺消去



資本金

利益剰余金

合計

取得持分

取得原価

のれん


期中仕訳

①のれんの償却

②子会社当期純利益の非支配株主への振替え

③子会社配当金の修正

④成果連結-内部取引高の相殺消去-商品売買取引

⑤成果連結-未実現利益の消去-棚卸資産


⑥成果連結-債権債務の相殺消去-売上債権・仕入債務



⑦成果連結-債権債務の相殺消去-貸倒引当金

⑧成果連結-内部取引の相殺消去-その他の取引  
成果連結-債権債務の相殺消去-経過勘定項目

⑨成果連結-未実現利益の消去-非償却性資産（土地）